

大会運営上の注意事項ならびに 感染症防止対策に関するガイドライン

会場への入場

※ 本大会は、無観客で行います。保護者、チーム応援団の入場はできません。

※ 参加者は、各報告書に記載してある健康条件を守って参加すること。

- ①【報告書1】・ 部員、チームスタッフ(顧問、外部指導員を含む引率者) ※毎日提出
 - ・ 入場可能時刻：試合開始予定時刻 1時間30分前(第1試合は1時間前)
メンバーは揃って入場すること。提出先 → エントリー確認用紙提出先
 - ・ TO担当者は必要に応じて【報告書1-②】を事前に準備すること。
- ②【報告書2】・ チームの映像撮影者(保護者)各チーム1名まで。
 - ・ 入場可能時刻：試合開始予定時刻 15分前
 - ・ 1試合につき1部提出。受付提出時にID交付。
- ③【JBA報告書】・ 審判員ほか専門部が依頼した大会運営役員
(チェックシート)・ 提出先 → 審判控室(担当者) → 大会本部
- ④【報告書4】・ 来賓、協会役員、各校教職員(管理職等)、視察者(大学等)、報道関係者
(入場者確認票)・ 受付で必要事項を記入し作成。受付提出時にID交付(報道関係者以外)。
 - ・ 報道関係者は、大会本部の報道受付で記入し提出。ビブス(腕章)を着用すること。
- ⑤【報告書5】・ スカウティング担当者
 - 【報告書1】に記載のあるメンバーのうち最大2名まで。
 - ・ 大会本部へ提出。専用IDをチームで作成し、見えるように携帯すること。

感染防止に関すること

※ 他の人の持ち物には触れないこと。共用した場合はその都度消毒すること。

- 会場内は常にマスク着用を徹底する。(競技中やウォーミングアップ時を除く)
- こまめな手洗い、アルコール消毒による手指消毒を徹底してください。
- 導線が指定されている場合には、その指示に確実に従うこと。
- 昼食など飲食中はソーシャルディスタンスを確保し、会話を避けること。
- 自チームの試合後は密を避けるため、速やかに会場から退館してください。
- 各チームで消毒スプレーなどを持参し、待機所の消毒に御協力をお願いします。
- 更衣室や待機所の混雑を緩和するよう、ゆとりあるスペースを確保する等の措置を各チームで講じてください。
更衣室の利用については、各チーム速やかな入れ替えを心がけてください。
- 各チーム単位で、ゴミの持ち帰りを徹底すること。
- 会場内でボールや用具等を預かることは一切行いませんので、必ず持ち帰るようお願いします。

競技に関すること

※ 試合中もベンチメンバーはマスク着用を原則とする。

- 試合球については、モルテン8面体JB5000を使用します。(事務局で準備)
- 次ゲームのチームによるハーフタイムでのコートアップは行わない。
待機場所付近、ランニングコース、小体育館、サブアリーナ等でのウォーミングアップを認めるが、可能な限りの感染防止対策を行うこと。特に発声などは厳禁とする。また、ボールの使用については会場の指示に従うこと。
- 前の試合のチームの退場が完全に完了してから、次の試合のチームが入場すること。
- 可能な限り、こまめに会場の換気を実施すること。(ハーフタイム及び試合間のインターバル時)
- 大きな声での会話や応援は自粛し、ハイタッチや握手などの身体接触を控えること。
- 相手チームや審判などへの挨拶は代表者のみで行う。その際もソーシャルディスタンスを保つこと。
- ミーティング等も短時間とし、密にならない措置を講じること。
- 試合後、使用したチームベンチの消毒作業を行うこと。(消毒用具はTO横に設置)
- TO並びにフロアキーパーはマスク着用を遵守すること。

体調不良者への対応

会場責任者 CNA 江 畠 尚(秋田西) 専門委員長 伊 藤 泰(平成)
県立 澁 谷 善 洋(新屋)

- 大会期間中(会場、宿舍含む)に発熱等の体調不良者が出た場合は、顧問・保護者の責任の下で必要な対応をしてください。
顧問は所属校管理職へ報告すると同時に、会場責任者もしくは専門委員長(感染対策責任者)へ直接連絡をお願いします。
- 大会期間中に参加者もしくはその家族に新型コロナウイルス感染者が出た場合は、速やかに専門委員長(感染対策責任者)に連絡し指示を仰ぐこと。参加者もしくはその家族に濃厚接触者やPCR検査対象者が出た場合も同様の対応をすること。

プログラム販売について

- 各チームのファーストゲーム前のエントリー確認用紙提出時にお渡しします。代金引換でお願いします。
- 緊急販売用に少量を本部に用意しますが、顧問の方へのみお渡し可能とします。